ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E112L005	木材加工学Ⅰ（製図及び実習を含む。） (Technology of Woodwork Ⅰ)		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
必修	2	2	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫		金1	日本語	英語	複数(共同)

担当教員	氏名　中原　久志 E-mail　nakaharah@oita-u.ac.jp（中原）　内線　7590（中原）
授業の概要	木材の性質と、その加工方法を具体的な実習を通して学ぶ。また、製作題材として、各加工法を用いた鍋敷きの製作を通して、工具使用の技能を身に付ける。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	木材及び木質材料の性質や特徴、加工方法を理解し、工具の適切な使用方法を身につける。	○		○				
目標2								
目標3								
目標4								
目標5								
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）	7		3				

授業の内容	
1	オリエンテーション
2	木材の分類と種類
3	木材の物理的性質
4	木材の機械的性質
5	木質材料の特徴と性質
6	材料取りの方法（けがき）
7	材料取りの方法（のこぎり）
8	部品加工の方法（切削：平かんな）
9	部品加工の方法（継手加工：のみ）
10	部品加工の方法（穴あけ加工：きり）
11	組立加工の方法（接着と接合）
12	仕上げの方法（塗装）
13	鍋敷きの製作（製図・けがき・のこぎりびき）
14	鍋敷きの製作（ほぞつぎの加工）
15	鍋敷きの製作（焼き処理）

アクティブラーニング			その他の工夫	
	A:知識の定着・確認	○	実技，ディスカッション，評価	
	B:意見の表現・交換	○		
	C:応用志向			
	D:知識の活用・創造			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	各加工法を用いた製作品の構想・設計を行う（30ｈ）
	事後学修	課題レポートを作成する(30h)
	想定時間合計	

教科書	随時プリント資料を配付
参考書	木材の性質と加工　開隆堂　(978-4304020056)

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	製作品評価	50%	○									
	定期試験	50%	○									

注意事項	
備考	
リンク	
	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	中学校教員，木材加工用機械作業主任者